

整備予定の津波避難施設一覧

地区	整備場所・既存施設	避難施設	整備状況
川崎	港橋付近	タワー	平成27年2月以降
	旧静波西保育園跡地	タワー	工事中
	川崎小学校	既存	-
	静波コミュニティ防災センター	既存	-
	静波キャンプグラウンド北側	タワー	設計中
	市営住宅東海団地跡地	タワー	工事中
	榛原交番南側	タワー	設計中
細江	慶住寺南側	タワー	平成27年2月以降
	東慶林公園	タワー	工事中
相良	相良中学校サブグラウンド南側	いのち山	設計中
	福岡区公民館横	タワー	平成27年2月以降
	相良保育園西側	タワー	設計中
	本通り駐車場	避難ビル	工事中
	金比羅山	防災公園	設計済

津波避難施設の整備が本格的に始動
 市では、津波避難施設(タワー19基、いのち山2カ所、避難ビル1カ所)、防災倉庫などを平成28年度、避難路・避難地を30年度までに完成させることを目標に整備を進めています。
 本年度、津波避難タワー3基、津波避難ビル1カ所、防災公園1カ所、いのち山1カ所、避難路10カ所、防災倉庫10カ所の整備に向けて、本格的に動き始めました。
 9月29日には津波避難ビル

10月2日には津波避難タワーの起工式が開催され、現在、工事を進めています。
 金比羅山防災公園(相良区・福岡区)は、平成27年6月ごろの工事発注を目指し、取り組んでいます。
 また、相良中学校サブグラウンド南側のいのち山(大江区)は、来年度の工事着手に向けて、測量設計を行っています。
 避難路は、27年度の工事着手に向けて、10カ所の避難路を測量設計中です。残りの避難路については、27年度以降に測量設計を行います。



津波避難タワー建設工事の起工式

「津波・防災まちづくり」 みんなで考えた津波避難施設の整備が始まる
 市民のみなさんと一緒に作成した沿岸部5地区の津波防災まちづくり計画に基づく、津波避難タワーと津波避難ビルの整備が始まっています。津波避難施設の整備に当たっては、市民の皆さんの意見を聞きながら、着実に取り組んでいきます。
 問い合わせ 防災課 植田 ☎(23)0056

津波避難施設の工事が4カ所で進んでいます

相良 地区 津波避難ビル(商工会)
 本通り駐車場

計画収容人数：521人 避難面積：311㎡
 高さ：12.15m 構造：RC造3階建て



津波避難ビル(商工会)の完成イメージ図



本通り駐車場で進む工事の様子

細江 地区 津波避難タワー
 東慶林公園

計画収容人数：405人 避難面積：244㎡
 高さ：9.00m 構造：PCコンクリート造



津波避難タワーの完成イメージ図



東慶林公園で進む工事の様子

川崎 地区 津波避難タワー
 市営住宅東海団地跡地

計画収容人数：380人 避難面積：228㎡
 高さ：8.72m 構造：鋼構造



津波避難タワーの完成イメージ図



市営住宅東海団地跡地で進む工事の様子

川崎 地区 津波避難タワー
 旧静波西保育園跡地

計画収容人数：892人 避難面積：496㎡
 高さ：9.13m 構造：鋼構造



津波避難タワーの完成イメージ図



旧静波西保育園跡地で進む工事の様子